

玉川の河川環境の変化と再生について考えてみませんか？

～雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会～

2016年2月6日(土)

時間／10:00～12:00(開場 9:45)

会場／大仙市 四ツ屋公民館

※会場の詳細は裏面を参照ください

川や生物、自然が大好き！
という方のご参加を
お待ちしております！！

参加費無料

雄物川や、その支川の玉川は、水辺に河原が広がるとともに、水生生物が生活しやすい環境である「ワンド」や「たまり」*が東北地方の一級河川*の中でも多いのが特徴で、「トミヨ属雄物型」のような希少な魚類も生息しています。しかし近年、河原や川岸の樹林化が進み、ハリエンジュ等の外来植物が増えたことで「ワンド」や「たまり」の面積が減少し、消失する箇所も見られるようになってきており、水生生物にとって暮らしやすい環境が減少しています。



国土交通省では、このような状況の改善を目的に、多様な生物を育ててきた、かつての豊かな河川環境の再生に向け、河原や「ワンド」「たまり」などの自然再生を図るための取り組みを始めています。

そこで今回、玉川の河川環境の変化を踏まえ、川の生物の住み処をどのように再生していくかなどについて、地域みなさんと一緒に学び、考えていくための勉強会を開催したいと思います。川や生物、自然に興味がある方のご参加をお待ちしています！

※ワンド・たまり…川の中にある池状の水域のことで、魚類にとっては洪水時の避難場所や稚魚の生育の場ともなります。

※一級河川…国土保全上や国民経済上、特に重要で、国土交通大臣が指定した河川が「一級河川」です。秋田県内の河川では、雄物川・米代川・子吉川が相当します。

水辺の樹林化(雄物川の例)

H12に確認されたワンドが、H19には土砂の堆積により縮小し、その後H22ではさらに樹林化・ワンド面積の減少が進行している様子が分かります。



勉強会の内容(予定)

第1回勉強会 (今回)

- 事務局からの説明・紹介
 - 勉強会の目的と進め方について
 - 雄物川・玉川の環境変化について

●意見交換

第2回勉強会 (平成28年春頃)

- 現地視察
 - 川岸が樹林化して消失したワンド等を例に

●現地視察を踏まえた意見交換

第3回勉強会 (平成28年夏頃)

- 現地視察した箇所を例に、再生による生物の変化をどのように調べるか等の意見交換

会場とアクセス

会場 / 大仙市 四ツ屋公民館
住所 / 大仙市四ツ屋西下瀬162-4
TEL / 0187-66-1500



お申し込み方法

お電話や E-mail、FAX でお申し込みください。
E-mailの場合は下記の必要事項を明記したメールをお送りください。FAXの場合はこの用紙に必要事項を記入の上、お送りください。

★申し込み締切日 / 2016年1月25日

お問い合わせ先

湯沢河川国道事務所 工務第1課
担当 / 白戸(しろと)、荒澤(あらさわ)
TEL / 0183-73-5504
FAX / 0183-73-3190
E-mail / shiroto-s82ac@mlit.go.jp

(ふりがな)

氏名 /

年齢 /

才

性別 /

男性・女性

職業 /

住所 /

電話番号 /

所属する団体名、役職等 /

その他、ご意見等ありましたらお書きください。

※お知らせいただきました個人情報は、本件の目的以外には使用いたしません
※申し込みが多数の場合は、事務局で選考させていただく場合がありますのでご了承ください